

川根町身成地区干し柿栽培実証ほ場設置・運営成果書

1 実証ほ場の設置

(1) 設置場所等

所 在	地 目	実面積 (㎡)
島田市川根町身成地内	田、畑	2,500

2 導入作物（渋柿）の植栽及び栽培管理

(1) 導入理由

川根地域の期間的な特産物である茶と同様の営農条件でも栽培可能で、お茶と収穫時期が重ならない。また、鳥獣害被害を最小限に抑えるため渋柿品種を導入する。

(2) 品種・導入数量等

品種名	特 徴	数 量
立石	川根地区の気候に適している。	150本
蜂屋	川根地区の気候に適している。	50本

(3) 栽培管理実績（品種ごと）

品種名 立石

作業項目	時期	内容
再生作業	H25.1 ～ H25.3	深耕、土壌改良、苗植付けにかかる準備作業
柿苗植栽	H25.3	苗植栽及び施肥
栽培管理 (H24)	H25.3	水かけ、園地内整備作業、防除のためのマルチ作業
栽培管理 (H25)	H25.4 ～ H26.3	苗木の保護、防草シート張り、園地冠水と整備、草刈及び消毒(除草)園地内整備(石拾い)育成不良苗の植替え、除草剤散布作業

品種名 蜂屋

作業項目	時期	内容
再生作業	H25.1 ～ H25.3	深耕、土壌改良、苗植付けにかかる準備作業
柿苗植栽	H25.3	苗植栽及び施肥
栽培管理 (H24)	H25.3	水かけ、園地内整備作業、防除のためのマルチ作業
栽培管理 (H25)	H25.4 ～ H26.3	苗木の保護、防草シート張り、園地冠水と整備、草刈及び消毒(除草)園地内整備(石拾い)育成不良苗の植替え、除草剤散布作業

3 渋柿加工技術者研修実績

時期	内容
H25. 3	長野県飯田市みなみ信州農協営農部にて、渋柿加工技術習得研修を行った。

4 干し柿試食会

時期	内容
H25. 12	<p>NPO まちづくり川根の会の会員他が参加し、干し柿の試食会を開催した。参加者からアンケートに答えていただき、「柿」は「時々食べる」人が最も多く、「よく食べる」、「食べない」がほぼ同数であった。「よく食べる」人の年齢別では大きな差はなかった。「干し柿」の味は、全体的には好評で、若い世代の評価が高いと言う結果が出た。</p> <p>今後は、安定的な量の確保、販売に向けたターゲット、品質、価格設定等、検討していかなければならない課題があげられたので、引き続き研究を進めていく必要がある ※当日の一般参加者、約 200 名</p>